

… 下流からのお客さま …

北上川の下流、宮城県の「水の里」登米市の教育委員会が「あいぽーと」を見学に訪れました。

教育委員会の方々は北上川の上流、岩手県側ではどのように洪水から町を守っているかを学ぶため、今回、見学に訪れました。

当日は岩手河川国道事務所の高橋副所長、あいぽーとの齋藤事務局長が、一関遊水地事業や堤防の改修について、国では洪水から皆さんの命や財産を守るため、上流だけでなく、下流に住む人々の生命や財産を守ることも考え、バランス良く事業を進めていることなどを説明いたしました。見学者は一関遊水地での洪水調節機能について詳細にわたり質問を行い、知識を深めておられました。



↑ 災害対策室の説明を受ける教育委員会の方々



↑ 高橋副所長による一関遊水地事業の説明

ゴールデンウィークに出水!



↑ 湛水している第3遊水地

5月3日から5日。低気圧による大雨により洪水災害対策支部(警戒体制)が設置されました。5月は非出水期ですが、ピーク時で狐禅寺8.54、諏訪前7.61という水位を記録しました。

出張所では、北上川及び支川の水位上昇による水害が懸念されるため、樋門の操作・排水機場の操作や出水中・出水後に巡視を行い、堤防等の河川管理施設に異状がないか等状況把握を行いました。